

自然感

くすのき



季節感

桜の頃、足元に可憐な白い花が一面に咲き広がる...
六月、赤い小粒の実が美味しい!
『クサイチゴ』
平成19年4月1日
福岡市東区志賀島弘

大塚俊樹



スタッフ募集

「青葉パークネイチャークラブのスタッフ募集」

福岡市東区の青葉公園で、青葉パークネイチャークラブを5月13日に開講することになりました。

現在自然観察指導員のスタッフ6名と講師として数名参加していただいておりますが、全員が毎回参加できる状況でないため、スタッフの募集を行っています。

内容は、会員の小学生を対象に、午前中青葉公園を中心に自然観察を行い、午後青葉公民館にて観察をもとに環境教育・環境学習を行う予定です。会員の募集は、青葉自治会・青葉公民館の協力で、パンフレットを来週から五百枚配布します。20名程度の募集にしていますが、今後、より多くの参加申込者に対応したいと思っています。

スタッフの育成も会の目的にしていますので、経験の無い方も歓迎しています。公園の指定管理者からの多少の資金援助があるため、交通費+弁当代(500円)程度は支給できます(年度末精算)。詳細は、別紙の募集チラシを参照

【問合せ】携帯番号：090-1874-6940 瓜生頭一郎



熊洞居人独言

#13

”生物季節”自然環境に興味がある人達にとっては馴染みの言葉である。最も良く耳にするのは各地の气象台が発表する、サクラの開花情報、ツバメの初見情報、カエルの初鳴き情報等である。これらを詳しく見てゆくと、植物では発芽、開花、満開、紅葉、落葉などの観測情報が記録されており、動物では初見、初鳴き等が記録されている。また、气象台によっては不時情報 季節外れの開花などが記録されている場合もある。これらの生物季節の記録を自宅でしている方もおられる。皆さんの中にも居られるのではなかろうか。

今年はサクラの開花予報が話題となった。気象庁は第1回目の予報で、高知と静岡の開花予想を3月13日と発表した。2月の平均気温が全国的に高かったこともあったが、異常に早い予報であった。福岡の予報は20日であった。その後、コンピュータへの数値入力ミスであったとして、14日の第2回目発表では静岡22日、高知24日と訂正された。実際の開花は静岡24日、高知23日、福岡は21日であった。因みに、气象台が発表する開花日とは、基準とするサクラの木で花が6輪開いた日である。福岡では、大濠公園南の福岡管区气象台の庭にあるソメイヨシノで観測している。開花日の基準とする標本木は全国的に同一品種のソメイヨシノが使われるが、北海道では多くがエゾヤマザクラ、沖縄方面ではヒカンザクラが標本木となっている。

ここでクマが呟く。福岡では3月31日には満開となった。例年なら満開を過ぎ1週間もたつと殆どの花は散ってしまう。ところが今年は10日を過ぎ、新葉が展開して葉桜となっても、殆どの木がまだ花をたくさんつけている。どうしたのだろうか。もしかして、何かとんでもない気象異変の前兆ではなかろうか。

イベント情報

ガイアネット九州自主上映会「地球交響曲 -第6番-」
GAIA SYMPHONY No.6

地球はそれ自体がひとつの大きな生命体であり、私たち人類もまたその大きな生命の一部として他の全ての存在と繋がって生かされているというジェームズ・ラブロック博士の“ガイア仮説”のもとに映画「地球交響曲」シリーズは撮影されてきました。

我々が住むこの世界はそれぞれが独自の“音楽”を奏でながら、お互いに響きあい、ハーモニーを生み出しています。しかし、最近の地球には不協和音が鳴り響いています。もう一度、自分以外の存在が奏でる“音楽”に耳を澄ませて下さい。「音を観て、光を聴く」これが地球交響曲第6番のテーマです。どうぞご参加下さい。

主催：ガイアネット九州

後援：福岡市・福岡市教育委員会・(財)福岡市文化芸術復興財団 他
場所：福岡市立 中央市民センター

福岡市中央区赤坂 2-5-8 TEL(092)714-5521

日時：2007年5月20日(日) 午前10:40開場

上映：1回目11:00~13:07、2回目14:00~16:07

総入替制

入場料：一般 前売り/1500円(当日/1800円)

学生(高校生以下) 前売り/1000円(当日/1300円)

【問合せ】ガイアネット事務局 福岡市博多区麦野 1-28-44

TEL(092)574-0331:山本 (092)844-1800:吉田

ホームページ <http://www.globetown.net/~gaia/>

早春山行

スキーの季節も終わり（今シーズンは述べ 25 日滑りました）そろそろ山が恋しくなり山へ出かけました。
3月25日(日) 場所 脊振山系 水無鍾乳洞から井原山ルート 雨上がりのホソバナコバイモ撮影が目的 気温 水無鍾乳洞駐車場で9 時間午前8時

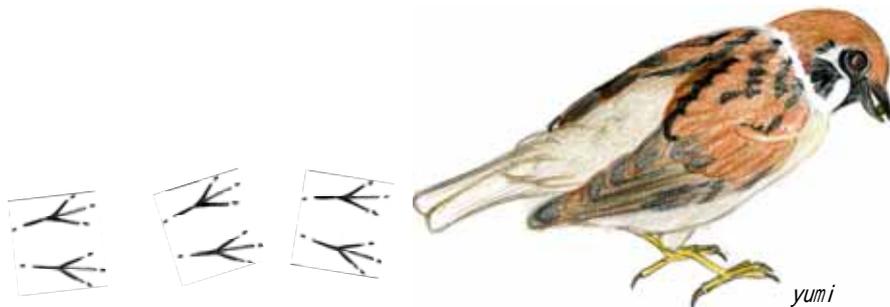
前日の雨が上がり、絶好の撮影条件となり寝不足ながら花に会えると思い撮影機材の確認をして井原へむかいました。目的はホソバナコバイモ、今年は暖かいので彼女たち(ホソバナコバイモ)に会えればいいなと思い沢沿いの道を進む。オオキツネノカミソリの新芽も雨露をつけて美しい。沢の快い音を聞きながらいつもの登山道をすすむ。ヤブツバキも花を付けていない。はたして彼女たちは咲いてくれているのだろうか。いつも咲いてくれている場所にたどり着きザックを降ろして探してみるが中々見つからない。この場所あたりから(海拔 400m)いつもは咲き始めているホソバナコバイモ。ガレ場になっているので、この場所のホソバナコバイモはカメレオンよろしく葉は茶系等なので中々見つからない。有るあるこんな処にひっそりと、大きな雨露を含んで待っていてくれました。三脚を広げアングルと決めピントの確認。レリーズで何カットかシャッターを切る。雨上がりの草花は真珠の粒を付けて輝いているのです。雨露を含んだ花びらが生き生きとしています。この光景が私の好きな一瞬です。もちろん早朝でないこの光景に出会うことは出来ません。井原登山道の沢が終わるあたりまでホソバナコバイモは咲いててくれました。

イチリンソウ、ニリンソウ、ヤマドリソウも咲き始めていました。これからは賑やかな登山道になります。ジロボウエンゴサク、ヤマエンゴサク、ツクシマムシグサ、ヒトリシズカ、ラショウモンカズラなどなど。そしてヤブツバキが咲き乱れ、ミツバツツジが咲いてくれるのです。これが脊振山系の魅力です。

忘れていました。登りの林道途中で若い一羽のメスの雉と出会いまして、暫らく車のそばから離れようともしませんでした。ビデオカメラを手にして車外に出たときは林の中に消えて行きました。こんな出会いもあります。



ホソバナコバイモ



yumi

第 43 回『身近なフィールド観察会』の報告

報告：田中健二

3月21日(春分の日)に、轟の滝の溪谷(長崎県諫早市高来町)で、実施した第43回『身近なフィールド観察会』に於いて、珍しいキノコでフジイロチャワンタケモドキ(ちゃわん茸の仲間; 右の写真参照)を見つけました。吉国会長の話によれば、キクラゲによく似たキノコであるが、良く観察すると、違いがわかります。毒種ではないけど、味はよくないそうです。



それから、左の写真は、何かわかりますか?単なる水溜りみたいに見えますが、実は、吉国会長の話によれば、これは、『イノシシのぬたば』と呼ばれていてイノシシが、この水溜りで、寝転んで、身体をこすりつけ、体のダニ等の害虫を取っていた跡とか。写真は田中貞子さんから提供です。

日本野鳥の会福岡支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）

4 / 15日（日） 5 / 20（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時間：9:00～12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

4 / 28（土） 5 / 26日（土）
久末ダム探鳥会（福岡町）
時間：9:00～12:00
集合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

5 / 6（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時間：9:00～12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）



5 / 12（土）
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時間：9:00～12:00
集合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

5 / 13（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時間：9:00～12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

日本野鳥の会筑後支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）URL: <http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>

4 / 22（日）
濃施山公園探鳥会（高田町）
時間：9:00～
集合：公園内すいせん橋
問合せ：0944-58-1672（野田）

5 / 13（日）
高良山探鳥会（久留米市）
時間：9:00～13:00（要弁当）
集合：三井小学校
問合せ：0942-78-5896（米田）



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

4 / 22（日）
自然観察会と生物記録会
各自自由に歩いていただき、お好きなものの記録や観察をしてください。

時間：9:30～お昼頃（延長可）
集合：簡保レクセンター跡地正門
問合せ：092-920-3072（松永）
要：保険料・駐車場代（小銭）



和白干潟を守る会 主催

4 / 28（土）
守る会定例会議
時間：10:30～12:30
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092 606 5588（田中貞子）

4 / 28（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：092 661 1594（田辺）

久留米の自然を守る会 主催

4 / 22（日）
第343回例会
吉見岳・樹木の名札付けとだご汁会
時間：9:30～14:30
集合：御井小学校（解散は現地）
参加費：200円 先着20名様
場所：吉見岳經由高良大社境内
持参物：マイカップ、はし
問合せ：0944-42-1942（金原優子）

福岡植物友の会 主催

4 / 15日（日）
戸ノ上山（北九州市門司区）
参加費：一般500円、会員200円

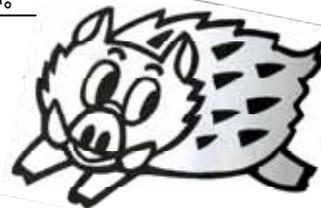
事前に予約必要
詳細は：092-947-6536
（大吉博子）

福岡市油山自然観察の森 主催

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

4 / 15（日）
春色の森
自然かんさつハイキング
春の花が咲きそろい、昆虫たちが動き出した森を散策します。

4 / 28（土）～31（月・祝）、
5 / 3（木・祝）～6（日）
春の森ものがたり劇場
森の生きものたちが主人公の紙芝居を自然観察センターのレンジャーが上演します。雨天実施 11:00～11:30 13:00～13:30 15:00～15:30 対
象：一般・定員なし
申込み：不要
集合場所：市民の森中央広場



問合せ：油山自然観察センター
参加費：100円
〒811-1355
福岡市南区桧原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00～16:30（月曜休館）

報告者:週末のさまよいびと

2007年3月10・11日に九重で開催された九州自然協議会に参加しましたので、その報告を致します。

泉水山の麓「県立九重青少年の家」で行われた九州協議会に久しぶりで参加しました。

大分、熊本からはたくさんの参加がありました。福岡県からは私を含めて3名でした。最近頑張っている佐賀や長崎からもたくさんの参加です。前回の自然観察指導員講習会の受講生だった大分のYさん、そのときの講師だった大分のAさん、熊本のTさんなど懐かしい顔がいました。

10日(土)はラムサール条約に指定されたたで原と坊ヶつるについてのシンポジウムがあり九重の自然を守る会、日本山岳会、地質、植生、鳥、昆虫、魚などの多方面の分野の人達からの様々な報告や意見が出されました。行政からも大分県や環境省などからの参加がありました。

夜は楽しい懇親会があり、各地の酒・焼酎やつまみがお土産で出され、その中でも私は珍しいスズメバチの佃煮を初めていただきました。姿を見るといかにも蜂で食べづらかったのですが、恐る恐る口にすると小魚の佃煮を甘くしたような感じで結構に美味でした。たくさん頂いたので3年ぐらいは長生きできるかも?

福岡のAさんの熊本県のお姉さんとも久しぶりにお話が出来ました。来年の熊本講習会では責任者だという事で福岡からの後押しを頼まれました。

翌日は たで原散策コースと 雨ヶ池・坊ヶつるコースに分かれて湿地の自然観察を楽しみました。前夜の冷たい豪雨が山ではみぞれに変わっていて、小枝についた氷とたくさんの黄色のマンサクの花、青い空とのコントラストがそれは見事でした。真っ白に化粧した三俣山が美しく、家に忘れたデジカメが恨めしく思われました。坊ヶつるで昼食後、苔などを観察して雨ヶ池・指山観察路経由で帰りました。このコースは季節によってはヤマドリやアサギマダラと良く会えるコースです。今回はナツバキとリョウブの樹木の幹の模様が似ているけれども、その違いやしきみとミヤマシキミ・ツルシキミの匂いや分布の違いなどをじっくりと観察できました。

来年の九州自然協議会は熊本県でいつかあるそうです。来年はたくさん参加されると良いですね。

報告者:吉田素子

3月10、11日に開かれた、九州自然協議会(大分・九重大会)と、それに先だって催されたシンポジウム「坊ヶつる(ラムサール条約指定地)の明日をみつめて-インバクト&カウンタープラン-」に参加してまいりました。

シンポジウムの参加者は、約80名でした。取り扱われた諸問題の中では、特にオーバーユースとマナーのことが印象に残りました。パネリストの方から、九重に入る自動車の中で、最多が福岡県のナンバーで、約半数を占めるというデータ(ピーク日のもの)が示されたことから、九重をはじめとする各地のオーバーユースやマナーについて、福岡でも啓発活動が行えるのではないかと考えました。

夕方からの九州自然協議会は、参加者が約60名。会始めて以来最多の参加者だということで、盛会でした。

11日朝は、坊ヶつる班とタデ原班に分かれての観察会でした。私はタデ原班で、九重の自然を守る会の方の案内で、タデ原とその周辺の林を観てきました。一昨年の土石流災害の跡も観ることができました。

昨年の11月に自然観察指導員の登録を済ませたばかりで、まだろくに活動もしていない私ですが、今回は勉強させていただこうと思っての参加でした。この参加をきっかけに、また新たなことに目が向くようになったので、有意義な2日間となりました。

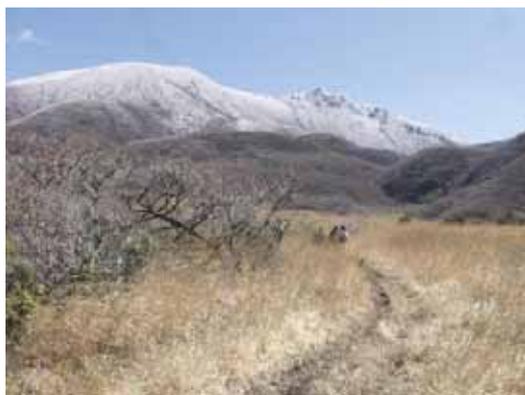


11日朝のタデ原散策(写真提供:吉田素子)

長者原より坊ヶつるへの山歩きの風景(写真提供:ネイチャー-佐賀会員 まったはん(増田英治)さん)



凍えた花びらのマンサクと三股山の霧氷



思わず「坊ヶつる賛歌」を口ずさみながらの行軍



落葉樹の森

観察会の報告

観察会の報告 2007年3月31日 簡保レクセンター跡地

三国丘陵の自然を楽しむ会では、自然観察会を行いました。天候がめまぐるしく変わった3月末、午前中降らなかった雨も観察会終了後にはポツポツと降り出しました。初めての方の参加も6人で大人14人子ども1人でゆっくり跡地を歩きました。

何度か参加された会員の方が、「1本の植物、例えばイスノキにも色んな面があるんですね。」と感想を述べられました。私はとても嬉しかった。花だけを愛でるのではなく、新芽や枝、そしてその植物に依存して生きている生物。季節毎にこれらも変わっていきますね。こういったことが環境を考えるということにつながるのではないかと、思いました。

観察会終了後、参加された会員の方々に当会の広告を考えました。今なら間に合うキャンペーンです。

今回は4月22日(日)9時30分から行います。次回はどんな発見が待っているでしょう。保険料・駐車場代など小銭をお持ちください。

皆さんのご参加、お待ちしております。 報告：松永紀代子

今なら間に合う！ 残したい自然と文化 湿地 と 茅場 と 森林 と

福岡県小郡市三沢の「簡保レクセンター跡地」は私たちの観察フィールドです。

三国丘陵の自然を楽しむ会

代表 松永紀代子 willard@mbc.ocn.ne.jp

電話・ファックス 092-920-3072



観察会の様子



コオイムシ



コゲラ



ギシギシの葉についていた卵

写真撮影：本のむし

樋井川でシロウオ観察会に参加しました

樋井川にもシロウオが産卵にやって来るようです。シロウオは室見川だけではないようです。

3/31の午後、樋井川下流の新草香江橋下の河原に出かけました。ここでシロウオ観察会がありました。主催は、福岡大学工学部の水圏システム研究室と、はかたわん海援隊(学生のボランティア団体)でした。私を入れて近所の親子など10数名が参加しました。

まず、3択クイズでシロウオの生態を学習しました。

この魚の分布域は、どこでしょうか？ シロウオは何科の魚でしょうか？ この魚の雄と雌の違いはどこでしょうか？

この魚はどこに卵を生みますか？ 卵は何個位生むのでしょうか？ 生んだ卵を守るのは雄か雌か？

これらの質問に対して、3つの答が文字と絵や写真で分かり易く用意されていました。

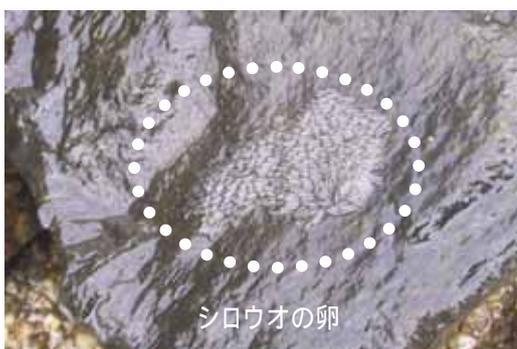
その結果、この魚は、『日本列島から朝鮮半島に生息し、ハゼ科の魚である。雄が干満の有る場所で、砂地がある中の転石の下に空間を作って、雌を誘い入れて、転石の下面にぶら下がるように卵を産み付ける(左の写真)。その後は、雄が一匹で卵が孵化するまで卵の世話をする』との事でした。シロウオの生活の一端がわかりました。

この観察会で、やたら転石をひっくり返したり、石の上ののっかる事はやってはいけませんとの注意の意味がわかりました。

川の大切さを知らせ、シロウオの不思議さを伝える観察会(右の写真)でしたが、観察会自体がシロウオへの影響を最小限にする工夫のいることがよくわかりました。

地元の川、樋井川の良さを一つ手に入れた気分になりました。

報告：田村耕作



シロウオの卵



これは何だかわかりますか？(右の写真)

2007年3月31日 簡保レクセンター跡地で行われた、「三国丘陵の自然を楽しむ会」の自然観察会で発見しました。

3月号の答えは、ジャコウアゲハの蛹でした。見た目から、後ろ手に縛られた囚われの身の番町皿屋敷のお菊さんとも呼ばれているようです。ナイス福岡掲示板で、2006年1月29日の松永さんの投稿記事へのコメントで、福田さんが紹介されています。下の写真は、ジャコウアゲハの成虫(右)と、蛹の抜けガラ(左)です。

これは何だろう!?



MAS



MAS



MAS



事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座: 福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費: 2000円

皆に知らせたいことはありませんか?

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さんの情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか?

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の 18:00~20:00 ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております!
次回の定例会は、**5月11日(金)午後6時より事務局で行います。5月号の原稿は、5/6(日)までに届くようお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。**

他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後支部 まめわり第72号 2007年4月1日
- ・福岡県NPO・ボランティアセンター コンテ6 Spring 2007
- ・久留米の自然を守る会 久留米の自然 第96号 平成19年4月1日
- ・福岡植物友の会 福岡植物友の会会報 平成19年(2007)3月・4月
- ・福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.35 MARCH 2007
- ・島根県自然観察指導員連絡協議会 おとしぶみ66 2007.3
- ・自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第116号(07.3.22)



田字草

編集後記 2007年3/9定例発送会は、山本勝・福田治・鶴田義明・大塚俊樹・冷川昌彦・吉田素子・藤川渡・田中健二・掛下尚一郎・重松尚紀・西村裕美・田村耕作が参加。定例会のために粟おこしなど(MY)ヘーゼルナッツと牛乳カスタードエクリア(MH)八女くろんぼう(OH)の差し入れがあり、感謝しつついただきました。

西公園の商店街のオオシマザクラの花も一段落、葉の緑が段々と濃く成っているのが目立ちます。田字草



お問合せ: 福岡県自然観察指導員連絡協議会
 (NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
 代表: 冷川昌彦 / 事務局長: 大塚俊樹 /
 編集: 田村耕作・山本勝・松永紀代子 / 会計: 宮原俊彦
 〒810-0061 福岡市中央区西公園 8-17
 自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-732-7042
 URL: <http://www.kurabird.com/>
 掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>